

# 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## キックオフミーティング発表資料

活動団体名：長野県根羽村

活動地域：矢作川流域

活動におけるテーマ

## 流域は一つ「運命共同体」

### 地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

#### ◆地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

「流域全ての地域に人が住み続け、流域全体で  
自然環境保全に取り組みます」



## 地域の現状と課題

### 地域の現状

【概要】長野県の最南端に位置し、愛知県と岐阜県に接する根羽村は総面積89.97km<sup>2</sup>のうち94%を山林が占めます。人口は昭和32年の3,282人をピークに減少の一途をたどり平成27年には970人にまで減少し、高齢化率は50%を超えます。

【特性】村内全戸が5.5haの山林を所有し、森林組合員で、古くから林業を基幹産業とし、林業が低迷する中であって、産業としての林業に加え環境面からも森林管理の必要性を認識し現在も官民協働で林業振興に取り組んでいます。

【地域資源】・下流域の自治体、団体の所有する山林を含め、村内のほぼ全域でFM認証を取得した山林 ・COC認証を取得した村単独の森林組合 ・豊かな山林から生まれる希少種も生息する清流 ・地域を守る元気な高齢者。

### 課題

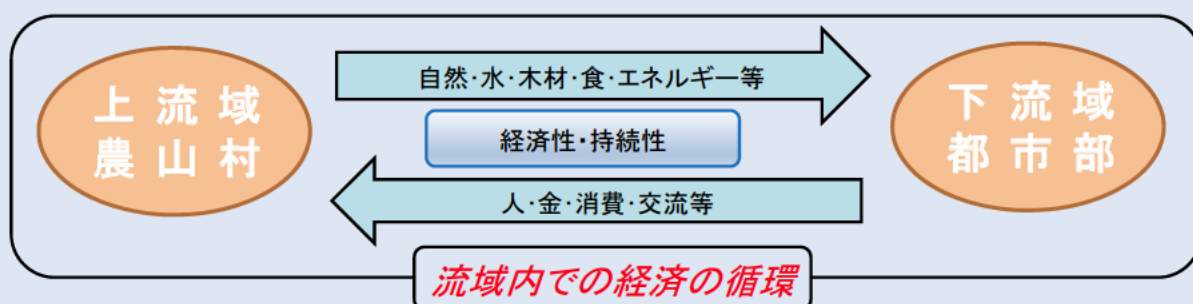
【現状】人口減少、少子高齢化の進行による後継者・担い手の不足。自然環境と国土の保全を持続させるため、地域に人が住み続けなければならない。

【今後】最大の地域資源である森林を活用し、木材の生産・加工・販売まで行うトータル林業により一定の成果は挙げてきたものの、更に環境保全への取組みとして環境学習の場の提供、木質バイオマスエネルギー源としての森林の利活用を進める等、地域内で経済効果が得られる取組みが求められます。

【地域循環共生圏の活用】

上流域の自然環境悪化が下流域にまで影響することを流域全体で認識し、流域全体で環境保全に向けて経済性・持続性を持った交流、取組の実現に向けた仕組みや組織を検討したい。

## 地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために



【上流域の想いは…】

- ・上流域で産出された木材を下流域でもっと使ってもらいたい…
- ・児童生徒、企業の環境学習の場として上流域を提供し、現地体験を有料にして仕事の一つにできないか…
- ・都市部で農業に関心のある人を対象に耕作放棄地の活用はできないか…
- ・木質バイオマスエネルギーの利活用を進めたいが…

【自治体】  
調整

【大学】  
助言・共同研究

【農林業者】  
環境保全・講師

【NPO】  
環境保全の取組

上流域の課題・目標の解決が下流域の理解・協力により双方にとってメリットになることが流域全体の環境保全につながるものであり、様々な角度から経済性と持続性を持った事業を検討し、上流域の担い手確保を目指します。

【商工業団体】  
事業化への取組

【民間企業】  
雇用の場の創出

【金融機関】  
事業内容の分析

